

2020年8月19日(木)

CO2 排出削減推進 99%再生材ごみ袋の導入について

このほど、当社（HTB）本社事業所（札幌市中央区）の清掃で使用するごみ袋について、廃プラスチックを国内循環させてつくられている 99%再生材ごみ袋を導入することになりましたので、お知らせします。

HTB ではカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進するため、今月より本社事業所の清掃で使っているごみ袋を、廃プラスチックを原料として再生生産される 99%再生材ごみ袋（商品名 FUROSHIKI）にすべて置き換えることにしました。

FUROSHIKI は、株式会社サティスファクトリー*が契約企業の出す使用済の廃プラスチック（ストレッチフィルム、緩衝材、クリアファイルなど）を定期回収し、バージン石油資源を浪費しない再生樹脂化。それを原料として国内で 99%再生材ごみ袋として再生し元の企業などに還元して廃プラスチックを国内循環させているものです。

HTB では、地球温暖化が主な議題となった 2008 年の G8 北海道洞爺湖サミットを契機に、脱温暖化宣言を行い、地球環境を考える「TOYA から明日へ！」キャンペーンを続けてきました。2018 年に移転した現在の当社においても、超省エネ自動環境制御システム（照明）、北海道熱供給公社からの地域冷暖房方式設備の採用（空調）、また全灯体 LED の導入（スタジオ照明）など CO2 の排出削減に努めています。本社事業所の清掃では年間約 1 万 1,300 枚の石油由来原料のごみ袋（低密度ポリエチレン）を消費しており、今回の全数置き換えにより、年間約 1.2t の CO2 排出を削減することができます。HTB では今後ともカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進してまいります。

*株式会社サティスファクトリー
<https://www.sfinter.com/>